

「小規模多機能ホーム推進セミナー in 静岡」

開催要綱

【趣 旨】

要介護状態となっても、これまで培ってきた隣近所や地域商店街などとの地域関係や、家族や友人などとの人間関係をたいせつにしながら、「日常の暮らしを継続したい」という高齢者の願いを実現するためには、多機能化されたサービスを連続的に提供することが求められています。

その実践は「宅老所」において先駆的に取り組まれてきたもので、特に痴呆性高齢者の地域ケアの未来像として注目を浴びています。

こうした宅老所は、「地域密着・小規模多機能ホーム」とも呼ばれ、通って（デイサービス）泊まって（ショートステイ）家にも来てくれて（ホームヘルプ）いざとなったら住むことができる（居住・グループホーム）機能を、一つの住宅に併せ持つものが一般的です。

今回のセミナーでは、「地域密着・小規模多機能ホーム」の実践を紐解きながら、その意味を明らかにし、小規模多機能ホームの普遍化の可能性を探るとともに、その推進を目指して実施するものです。

【日 時】 2002年10月12(土) 10:30～16:20

【会 場】 静岡県女性総合センターあざれあ大ホール(JR静岡駅より徒歩3分)

【主 催】 宅老所・グループホーム全国ネットワーク/静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会

【共 催】 特養・老健・医療施設ユニットケア研究会

【定 員】 350人

【参加費】 4,000円

【申込方法】 プログラム下の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にて下記事務局までお申込ください。なお、昼食希望も合わせてお申込ください。申込用紙を受け取りましたら、3日以内に受領確認及び参加費支払い方法のFAXを返信させていただきます。その後参加費の確認が出来次第参加申込書を送付いたします。なお、3日以内に返信なき場合はご連絡ください。

【内容に関するお問い合わせ】 宅老所・グループホーム全国ネットワーク

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 5-3-18-207 TEL:022-719-9248 FAX:022-719-9251

E-Mail: takurousyo_net@clc-japan.com URL: <http://www.clc-japan.com/>

【内容】 10月12日(土)

時 間	内 容
10：30 ～ 10：40	開 会
10：40 ～ 12：10	<p>基調鼎談</p> <p>「小規模多機能ホームの実践とその意味」</p> <p>鼎談者</p> <p>きなっせ（熊本県） 代 表 川 原 秀 夫</p> <p>季刊痴呆性老人研究 編集長 泉 田 照 雄</p> <p>東北福祉大学総合福祉学部 教 授 高 橋 誠 一</p>
12：10 ～ 13：00	昼 食 ・ 休 憩
13：00 ～ 14：30	<p>実践報告リレー</p> <p>実践報告者</p> <p>せんだんの杜なかやま（宮城県）</p> <p>せんだんの杜中山地域サービス部 在宅支援課長 秋 元 かおり</p> <p>託老はうす おざいしょ（静岡県） 代 表 安 達 美由紀</p> <p>今井あんきの家（愛知県） 代 表 村 田 恵 子</p> <p>コーディネーター</p> <p>静岡精華短期大学 助教授 平 田 厚</p>
14：30 ～ 14：45	休 憩
14：45 ～ 16：15	<p>まとめのディスカッション「小規模多機能ホームの可能性を探る」</p> <p>パネラー</p> <p>静岡県宅老所・グループホーム連絡協議会 西 谷 祐 一</p> <p>宅老所・グループホーム全国ネットワーク</p> <p>代表世話人 高 木 敏 江</p> <p>静岡市保健福祉部介護保険課 課長補佐兼管理係長 望 月 秀 樹</p> <p>厚生労働省大臣官房 広報室長 樽 見 英 樹</p> <p>コーディネーター</p> <p>日本福祉大学社会福祉学部 教 授 平 野 隆 之</p>
16：15 ～ 16：20	閉 会

「小規模多機能ホーム推進セミナーin 静岡」申込書

FAX：022-719-9251

所 属 連絡先	所 属： TEL：（ ） FAX：（ ）	
住 所	〒	昼食弁当 1000 円お茶付 個申込
参加者 氏 名		